

バリアフリーペンション

まついだ

森の家通信

No.4

2008・11・15

NPO法人まついだ森の家

群馬県安中市松井田町上増田670

TEL/FAX027-393-0655

## 里山歳時記

稲架掛けの稲束もたんぼから無くなって秋から冬へ向う。

7月はひどく暑く8月はピンポイントで大雨が降るといいう日が多く

有り、草ののび方もはんぱではなくずいぶん刈り残してしまった。

この秋も祭りがあちこちで有って町のメインストリートでも各地区の御輿や山車をくり出している。

もう少しギャラリーが多ければ盛り上がるのだけれど・・・。

コスモスが終わってドングリが落ちて朝晩冷え込む様になり夜も遅くなるとオリオンがもう東の空に巡って来ている。(石橋 記)

## 花アルバム



バリアフリー特集

## 目次

マイ・オピニオン      ハンディをお持ちの方のエッセイ

こんなお客様がいらっしゃいました

インタビュー          第一ドライ堤社長

見学記                  障碍福祉サービス事業所「ライフ」

## 『ひとりでの旅について・・・』

まさえ  
藤尾正栄

初めてなので 私は 横浜を出て松井田に行くのは ドキドキしたこともあります。それは、最近 JRの路線も昔と違い、かつて湘南電車とよばれていたのが、湘南新宿ラインと名前がでて、小田原付近から高崎駅までのびたことと、この電車を利用しに外国人労働者も東京都内に入入りする機会が増加しそうなので、ちょっとこわいです。群馬県内も、南米のブラジルからの移住民が多いそうです。このとき私は5万円ほどの大金をしっかりと持ちながら、あたりを時々みながらあるいたので、やっと高崎に来てしまったとほっとしました。横浜からだとも2時間あまりなので、グリーン券を利用したほうがよいです。一般車だと結構客数が多くて年れいもさまざま、やかましいかもしれません。グリーン車は静かなところでしょう。グリーン券を買うのもきんちょうしました。無事で過ごせてよかったです。温泉にも、二日間行って、とても気持ちがよかったです。

1日目の夜は、次の日どこへ行きたいかを地図や。雑誌を見せてくれました。ラベンダーパークにしようかなと思

二日目は、美術館で、ひとつはオルゴール、もうひとつが昔なつかしのアニメ・映画・おもちゃなどで、心がゆったりしそうです。アイドル時代だった昭和の顔写真もたくさんありました。この日は雨がふっていましたが「ラベンダーのさと」には行かなくてよかったです。(後略)

私は最近5百円玉や千円札ちょ金をおこなっています。物価も値上げしているので、自分自身も一生けん命にちょ金できたらいいです。

まさえ  
藤尾正栄さんは、横浜在住

高等養護学校卒業後、一般就労して、  
現在は、福祉工場でクリーニングに従事。  
また、グループホームで生活しています。

・の家には、家族やグループで何度も来ていますが、  
今回は、二泊三日の一人旅に初めてチャレンジしてみました。  
スタッフの車で、伊香保方面に行きました。

文章は、一部分略させていただいた他は、すべて原文どおりです。

## 『もりのいえとわたし』

よこはまし かげやま あつこ

わたしは、群馬県の森の家にもつとまりにいくと、わたしはこころがやすらいだり しずかなくうきだし、それから、みょうぎさんが、へやのなかからみえるってすごいなとおもいます。そとにでると、とりのさえずり、うぐいすがしぜんなしずかなばしょでないたり、アマリリスのおはなのばしょがあって、さいてきれいなところもあって、ろうばいのきがあたり、うめのきがあたり、こんにゃくいもがうわってたり、さんさいがいっぱいあたり、たけがうわってたり、まだけがとれたり、それをりょうりして、たべるとおいしいやわらかなあじになって、おいしくたべられるっていいとおもっています。

わたしはいなかがないので、森の家をいなかにしています。

わたしのしゅみは、ジグソーパズル、ビーズ、はしぶくろづくりです。

島谷ひとみ、青山テルマ、本田美奈子、ザードのシイデーをじぶんのへやできいています。

それから、わたしはシイデーをききながら、じぶんのへやでマラソンランナーで40ぶんうんどうをしています、これからもがんばっていきます。

それから、森の家に行く、ドライバーがたのしみでストレスかいしょうほうだとおもっています。

それから、そら、ちびとなかよくあそびます。

わたしのストレスかいしょうほうは、森の家しかありません。

これからもよろしくおねがいします。



影山敦子さんは横浜在住。国大付属養護高等部を卒業後、一般就労、グループホーム等を経験し、現在は、自宅から通所で、プリント部門の仕事をしています。

文章は、メールで送られてきた原本どおりです。絵も、ご本人です。

# みんなお客様が いらっしゃいました

## ひぼ・ふれんず

その名のとおり、「乗馬」が目的の、  
毎年横浜から、福祉バスのグループ。  
伊勢崎にある「ホース・パラダイス」は、  
障害者の受け入れがよく、おすすめです。

## ジャッキー&桜&パワフル

横浜から福祉バスで日帰りのグループ。  
・の家でランチをしてから、  
鉄道文化村でトロッコ電車を楽しみました。

前橋の入所施設 **こがね荘** の皆さん  
宿泊も、ランチだけのご利用も  
有り。(刻み食・お粥等)

山内哲さん(横浜のグループホーム入居者)  
ヘルパー3級資格を持ち、老人ホーム勤務。  
一人オセロで鍛える最強の**オセロマン**。

須藤和夫さん(こがね荘入所者)  
いつもはお姉さんと一緒ですが、  
この夏は、一人で3泊。  
他の方との交流を楽しみました。

## かんなの里グループホームの女性グループ

今までは、藤岡市内の旅館を利用しておられました。  
夏休み2泊3日。

埼玉の清宮様ご夫妻(ご主人は車イスですが、運転をご自分で)

星がきれいと感じ。ご自身が使って良かったという特製いす用坐面マットをご寄付いただきました。

## 横須賀つくしの会

ダウン症者の社会人部会で、もう10年来のお馴染み。  
今年は、赤城クローネンベルク牧場へ。愉快的仲間。

京都から、福井さんファミリー

母校の、**白根開善学校(六合村・全寮制)**の伝統行事「100キロ強歩」の応援に。

福井さんは、今春卒業後は、地元で、色々な職場で、体験実習中です。

松井田町のS様

普段は、**デイサービス**を利用されていますが、  
今回、奥様が御用で不在の間、三泊4日の宿泊でした。

## 「夢伝」参加(10月)

旧松井田町主催の「夢伝」は、  
**障害があってもなくても、**  
**走っても歩いても車椅子でも、**  
**楽しく共に参加できる**約4キロのレースです。  
16回を数える今年も、  
横浜から、泊りがけで2組が参加。

## かんなの里入所者の小グループ旅行

今までお出かけの難しかった方のチャレンジを含めて。  
地元デイサービス事業所の**音楽療法士さんがボランティア参加**。  
夜のひと時を楽しみました。

## 福目会

(群馬の**中途失明者点字学習グループ**仲間)  
宿泊時、ご近所に住むプロミュージシャン後藤  
隆次さんが演奏にきてくださり、大盛り上がり。

横浜のIさん（車イス）  
ずっとご家族で来ておられましたが、  
ご本人の意思で、  
今回はお母さん+ヘルパーさんと。

### 子ども里山合宿

都会の子供と地元の子供。すぐ仲良くなってピザ作り、ブルーベリー摘み、川遊び等楽しみました。

山梨のS様ご夫妻（奥様が車イス御使用）  
毎年1回の松井田での集会参加時にお泊りです。

### 山口かほるさん

東京国分寺市で自立生活している重度脳性まひ者。

自らも障碍福祉NPO団体の理事を務める。

「絵を描くことが生きること」毎年国立で個展。去年は銀座でも。

☆ 横浜のグループホーム「スマイル」の皆さん

車イスでも、新幹線利用ならすぐです。（東京から70分・安中榛名駅下車）

安中市社会福祉協議会から、車イス2台OKの福祉車両をお借りして、碓氷峠と軽井沢の旅。

横浜のNファミリー

毎年2泊3日を積み重ね、楽しみを少しずつひろげてきました。

音楽会も、花火も、温泉も、トロッコ電車も、トンネルも！

・の家としては異色の、（元気で可愛い）埼玉・高校女子バトミントン部の合宿  
町の勤労者体育館を借りての練習、あるいは地元松井田高校での練習試合でした。

夏休みは、小さいお子さん連れのご家族が多かったです。

そのお楽しみは、サファリパークと鉄道文化村が、ダントツ！

・の家に来てみると、川遊び、カブトムシ、わんこ、木のおもちゃなども楽しかったかな。

# 第一ドライ社長 堤一彦さん インタビュー

まついだ森の家のシーツ・カバー類は、第一ドライさんからレンタルしています。

安中にある工場に返却・借り出しに行きますと、外国の方、障害のある方をよく見かけます。

たくさんの方が忙しそうに働いていますが、その従業員さんの感じが良いのです。

てきぱき明るく、さっと対応してくれます。いつでも、みんなが、そうなのです。

それはなぜなのか、気になっていたところ、新聞にこんな記事が出ました。

二〇〇八年度の障害者雇用優良事業所等表彰の全国表彰式が二日、都内で開かれ、安中市安中のクリーニング業、第一ドライ（堤一彦社長）が、障害者雇用優良事業所として独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構の理事長表彰を受けた。

第一ドライは約四十年間、積極的に多くの身体、知的、精神障害者を雇用し続けたことが評価された。賞状を受け取った堤社長（56）は「今後も意欲があり、継続して働ける人の雇用に努めたい」と決意を語った。

これだったのか！というわけで、早速、社長さんにお話を伺いに行ってきました。

（株）第一ドライは、創立50年、地元磯部温泉を初め、軽井沢のプリンス、星野、万平ホテル等のリネンサプライをしています。（もちろん、一般クリーニングも）

現在、ハンディのある方（身体、精神、知的）は、4名（3～30年勤続、正社員またはフルタイムパート）

まず社長さんが言われたことは、「障害者雇用を意識してやってきたわけではない」ということでした。軽度の身体障害を一般雇用していた所から始まっていますが、縁あって精神障害の方、養護学校の先生の熱意から始まった知的障害の方、最近では、グループホーム入居者の雇用があり、「いずれも、その時々のお会いにできるだけの対応をしてきただけ」といわれます。未だに十分適応してはいないケースもありますが、この方たちの雇用には、適切な配置と、現場スタッフの面倒見の良さが大きなポイントになっているそうです。

「地方の中小企業にとって、障害者、外国人、高齢者という、ある意味 非効率な労働力の雇用は、必然ではあったのだけれども、しかし、また成果主義だけでは、どんな社会も成り立っていかない。ハンディのある人もない人も両方いるのが当たり前だし、人間ってそんなにかっこよく生きられない、みんなが補い合って、暖めあって一緒にがんばって仕事をして、ごった煮でいい味出せたらいい。」

実際、第一ドライは、障害者雇用の他にも、子育て支援求人（若いお母さん方対象に、子育てに必要な休暇を全面保障する・高齢者雇用との組み合わせで可能に）、解雇しない宣言等々、経営効率と、社員を大切に地域に必要とされる企業としてのバランスを模索する努力を、地道に重ねています。

この姿勢が、あの『いい感じ』の元だったんですね。

なお、今回県からの助成金で危険度の少ない機械を導入することになったので、障害のある実習生の受け入れを増やし、現在在籍している障害のある方にも新たな職域を拡大する、というお話もされました。

国が率先して弱者切捨てをしているこの時代に、こんな優しい企業が地元にあると知り驚きました。

派手な理想を掲げて走るのではなく、困難をきっちり引き受けて日々奮闘されている社長さんと、その社員の方々に心からのエールを送りたいと思いました。（記・黒羽）

# 『ライフ』見学記

・の家から安中方面へ県道をほんの3kmばかり下った所に、今年4月社会福祉法人「昭和ゆたか会」(昭和村)の運営する障害福祉サービス事務所「ライフ」がオープンしました。

「昭和ゆたか会」(平成14年度設立)は昭和村に知的障害者通所授産施設「星夜の森学舎」とデイサービスセンター「燦」を、沼田に地域ホーム「もみの木ハウス」を運営しています。



「ライフ」は現在20人が通所しています(前橋、高崎、藤岡、下仁田、富士見、東吾妻)(安中市0!) 職員は8人(事務職、看護職含む)(非常勤含む)

800坪の敷地に平家建180坪の建物は県道入ってすぐの高台にあり、正面に妙義山が見渡せます。メインの建物は、メンバーさんの作業室兼食堂になっている広い部屋と4つの食品加工室等があり、付属の農作業棟、温室を備えています。送迎あり(無償)弁当あり(有償)

メンバーさんは「ライフ」開所以前から「かくたつ前橋」で療育指導をうけていた方々が中心で、自閉的傾向あるいは行動障害をもつ方々が多いようです。

指導方針は「作業」に重きをおいています。生産活動により「人とふれあって生きる喜びを知る」「人として人と共に、家庭や地域でくらししていく」事をめざします。

作業内容や設備は授産施設である「星夜の森学舎」の経験をふまえたものですが、現実には、重度の利用者が多いため各個人の問題改善にとりくみながら徐々に作業にむかう段階とのこと。

建物の周辺や借りている畑でのブルーベリーの育成、落花生の収穫等がはじまっていました。「こんにゃく」「なっとう」「ジャム」「あん」の各加工室は広く充実の設備で(ヨダレが出るほど・・・)さらに和紙加工印刷、そば製粉、落花生焙煎機等も備えられていました。

当日(平日午前)は皆さんテーブルでボールペン組み立てとホチキスの針の箱詰め作業に静かに取り組んでいました。

また畳ルームで緊張緩和マッサージをうけている方もいました。

施設長の石井洋一さんは安中出身の30代ですが「たんぼぼ学園」(8年)「星夜の森学舎」(5年)のキャリアをもつ方です。

御近所さんになったので色々に交流できますように。

春市にも製品をお出し下さいね。

森の家を、地域の1つの社会資源としてご利用ください。

地域情報もさしあげられますよ。

## 9月23日(祝)後藤隆次コンサートin・の家

ご近所に住むご縁で、元ロスインディオスの後藤さんのコンサートをいたしました。  
53名の方が、聴きにきてくださいました。(主催 森の家)  
ケーナ・フルート・ギター・チャランゴ・キーボードにボンボをお一人で演奏。  
フォルクローレから日本の歌まで、多彩なプログラムで、秋の午後を楽しみました。

## 11月8日 岡林立哉 馬頭琴とホーミーの夕べ

革張り馬頭琴の生の音色と、朗々としたホーミーの響き。そして興味深いモンゴルのお話でした。

## 丸沼高原ペンション 風雪と樹

紅葉が見頃の10月下旬、お邪魔してきました。

経営する坂本博通・初枝夫妻は、埼玉県の知的障害者施設に長く勤務しておられました。その経験から、障害をお持ちの方、ご高齢の方等、すべての方に、気兼ねなく楽しい時を過ごしていただきたいという**バリアフリーマインド**で、運営されています。(森の家とおんなじです！)

十分なバリアフリー設備ではないといわれますが、階段昇降機、手すり等設置しています。

日光へ、尾瀬への玄関口。

スキーも出来、春夏秋冬も美しい丸沼高原

周辺のご案内は、アウトドアのご主人にお任せです。



### まついだ・の家応援団会員 いつでも募集中！

NPO法人まついだ・の家は、二つの柱を立てて活動していきます

- ◎ いろいろなハンディをお持ちの方とその支援者に対して  
気兼ねなく泊まれる宿と、交流の場を提供する。
- ◎ 里山の豊かな自然環境を発信していく。

その存在を応援してくださる方々が「応援団会員」です。2008年度会員 現在77名。

年会費は 10,000円、3,000円、1,000円 です。

まついだ森の家通信と、各種イベントのご案内をお送りいたします。よろしくご支援ください。



ホームページURL <http://www.normanet.ne.jp/~morinoie/>

(まついだ森の家で検索してください)

ホームページトップから、**ブログ**をごらんになれます。

E-mail [matsuida-morinoie-2007-npo@amber.plala.or.jp](mailto:matsuida-morinoie-2007-npo@amber.plala.or.jp)